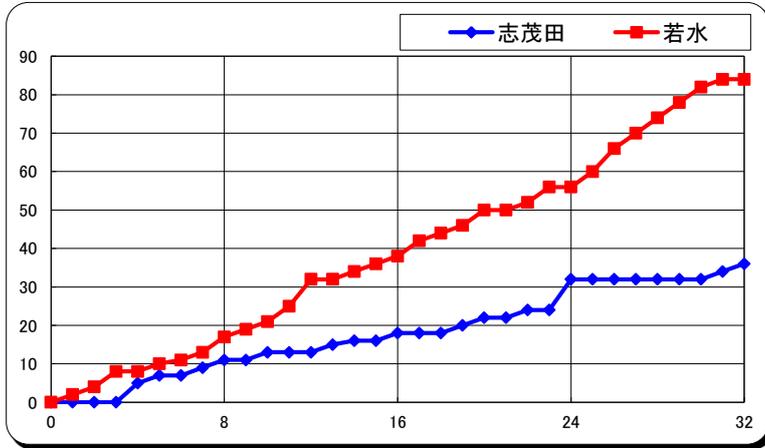




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会																
会場	さいたま市記念総合体育館																
日時	平成24年8月22日(水) 12:10																
コート	Cコート 第3試合																
カテゴリー	女子 予選Kリーグ																
主審	中川 大州 (滋賀県)																
副審	秋山 知洋 (山梨県)																
Team A		Team B															
志茂田 (東京都)	36	84 若水 (愛知県)															
	<table border="1"> <tr><td>11</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>7</td><td>2nd</td><td>21</td></tr> <tr><td>14</td><td>3rd</td><td>18</td></tr> <tr><td>4</td><td>4th</td><td>28</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	11	1st	17	7	2nd	21	14	3rd	18	4	4th	28	OT			
11	1st	17															
7	2nd	21															
14	3rd	18															
4	4th	28															
OT																	

【BOXスコア】

Team A		志茂田					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	福田 舜菜	✓	0	0	0	0	0
5	忍田 恵	×	11	1	4	0	0
6	池田 美波	✓	2	0	0	2	2
7	高橋 華菜	×	4	0	2	0	2
8	塩田 結香	✓	0	0	0	0	0
9	新貝 未羽	✓	2	0	1	0	0
10	小笠原 美奈	×	1	0	0	1	1
11	小沼 康乃	×	6	0	2	2	1
12	渡部 亜矢	×	8	1	1	3	0
13	佐藤 蓮	✓	2	0	1	0	0
14	高橋 芽生	✓	0	0	0	0	0
15	倉島 綾乃	DNP	0	0	0	0	0
16	長谷川 楓	DNP	0	0	0	0	0
17	山井 ケルビン	DNP	0	0	0	0	0
18	関 楓佳	DNP	0	0	0	0	0
監督	林田 伸一郎						0
コーチ	田島 幸奈						0
合計			36	2	11	8	6

Team B		若水					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	須田 桃香	×	19	1	8	0	1
5	川口 友香	×	18	0	8	2	1
6	粥見 奈由	×	8	0	4	0	1
7	服部 夏実	×	8	0	4	0	1
8	清水 碧	✓	0	0	0	0	0
9	二宮 知紘	✓	2	0	1	0	1
10	中島 彩衣	✓	14	0	7	0	3
11	磯部 らな	✓	0	0	0	0	0
12	梶原 希歩香	✓	0	0	0	0	0
13	米納 京香	✓	0	0	0	0	0
14	成田 夏乙	✓	0	0	0	0	1
15	馬瓜 スターニー	×	15	0	6	3	1
16	東 優衣	✓	0	0	0	0	0
17	岡田 真那美	✓	0	0	0	0	1
18	大河内 美衣奈	✓	0	0	0	0	0
監督	西澤 一真						0
コーチ	儀満 かおり						0
合計			84	1	38	5	11

【戦評】

志茂田1-1-3ゾーンDef、若水2-2-1オールコートDefでスタート。立ち上がりから若水が速い展開で#7、#5の連続ゴールを決め、Defでは積極的にダブルチームをしかけ主導権を握る。リズムのつかめない志茂田は1分30秒でタイムアウト。その後も若水のリズムでゲームが進むが、互いにミスもあり得点が動かないまま時間が過ぎる。残り4分で志茂田#12が3Pを決め、初の得点を決めると#5が連続でミドルシュートを決め、リズムをつかみかけたところで若水がタイムアウト。その後、両チーム得点するも、志茂田11-17若水で1Q終了。2Q立ち上がりから若水のDefが激しさを増し、志茂田はターンオーバーが多くなり簡単に得点を許してしまう。また、若水は長身#15のリバウンドからのワンパスで#4がレイアップを決めるなど速い展開でシュートが決まり点差を広げた。対する志茂田は、なかなかシュートまで行けず、前半を志茂田18-38若水で終える。

後半になっても若水の勢いは止まらず、相手ターンオーバーから#6、#4の連続ゴールで点差を広げていく。開始2分で志茂田はタイムアウトを取るもなかなか得点できない時間帯が続く。残り2分で若水がベンチメンバーと交代し、志茂田が得点するも32-56で3Qが終わる。4Q、若水はスタートメンバーで開始1分30秒で#10、#5、#4、#15の連続5ゴールで突き放す。志茂田はタイムアウトを取るも流れは変わらず、残り2分までゴールできず。終了間際に若水は全員交代するが志茂田も最後まで諦めず、#11のフリースロー、#7のミドルで加点し36-84で若水の勝利で試合終了となる。若水の鍛えられた脚力と、粘り強いDefが際立った試合であった。

【戦評記入者】

玉川 敏史